

《プログラム》

■【賛助会員による森林 GIS のデモ】 11:00-17:00 (受付 10:30-)

■ 11:00 開会宣言 野田 巖(森林 GIS フォーラム会長)

■【基調講演】

11:10 松村 直人(三重大学大学院生物資源学研究科)
「森林 GIS フォーラム 20 年とこれから」

■【シンポジウム】 ーこれからの林業は、森林クラウドが変えるー

●13:00

中村 昌有吉(林野庁)
「森林情報高度利活用技術開発事業の概要」

13:25

岡田 広行(住友林業株式会社)
「標準化事業の実施状況と検討の方向性について」

13:50

那須野 元庸(一般財団法人日本情報経済社会推進協会)
「森林クラウドに関わるセキュリティ問題」

14:30

大萱 直花((一社)日本森林技術協会)
「クラウド時代の業務効率化」

14:55

中村 尚(パシフィックコンサルタンツ株式会社)
「クラウド上での森林情報の共有と更新の可能性～秋田県実証～」

15:20

島崎 浩司(株式会社パスコ)
「共有型森林 GIS への期待と課題～九州地方実証～」

●16:00【賛助会員による話題提供】

一般社団法人 日本森林技術協会
株式会社パスコ
アジア航測株式会社
北海道地図株式会社

●16:55 閉会宣言 鹿又 秀聡(森林 GIS フォーラム事務局)

設立の趣旨

森林は従来の木材生産以外にも、生活環境や自然保護といった「地球的規模でかつ多面的な環境問題」といった面でも多くの人々の注目を浴びるようになってきました。これからの森林管理では、経営、治山、防災、環境などの森林に関わる各業務において、さまざまな局面に対応できる情報システムの支援が求められています。森林GISフォーラムでは森林関連の情報システムを構築する上で強力な手法となる森林GISに焦点をあて、その活用から森林のあるべき姿を考えたいと思っておりますが、森林GISの普及に際しては、次の二つの問題点が指摘されています。

(1) 現在の森林管理の情報制度をコンピュータ化しやすいように見直す必要がある。

(2) 森林専門家の中に、情報処理技術に習熟した人材が不足している。

これらの問題を解決するためには、森林管理に習熟した経営者や行政官と、情報処理に優れた専門家との相互交流であり、そのため、森林経営者、森林行政官、GISの専門家、そして森林研究者の交流の場として森林GISフォーラムを設立しました。

年間の活動内容

- ・4～5月 運営委員会を開催し、年間の活動方針を決定
- ・9月～11月 各地域にて地域シンポジウムを開催
- ・2月 東京大学にて東京シンポジウムを開催
- ・3月～4月 日本森林学会大会にて学生シンポジウムを開催
- ・その他、広報誌としてニュースレターを年2回程度発行

一般会員の登録について

個人が加入できる一般会員の登録についてはお名前と所属、E-Mailアドレスを事務局(nyuukai@fgis.jp)にお知らせください。森林GISフォーラムのウェブサイトからも申し込みができます。入会費、年会費は無料です。一般会員には、イベントや会報の発行案内をメールで送ります。ゆるやかな会員制度ですが、その分、気軽に利用していただければと思います。

賛助会員について

賛助会員は森林GISフォーラムの目的に賛同し、その事業に協力しようとする法人または団体が加入することができます(ただし、日本国内に事業所を有すること)。

2015年1月現在の賛助会員は以下のとおりです。

(アイウエオ順で掲載しています)。

- ・アジア航測株式会社
- ・株式会社ギョロマン
- ・国土地図株式会社
- ・株式会社東京サテライトイメージマーケティング (旧)東京スポットイメージ株式会社
- ・一般社団法人日本森林技術協会
- ・パシフィックコンサルタンツ株式会社
- ・株式会社パスコ
- ・北海道地図株式会社